

令和5年第5回産業建設常任委員会 要点記録

開閉会日時		令和5年6月19日（月曜日）		開会	13:50		会議場所		別海町議会 委員会室 2・3	
				閉会	14:37					
委員の出欠		4 番	貞宗 拓雄	出席	5 番	伊勢 徹	出席	7 番	横田 保江	出席
		11 番	今西 和雄	出席	12 番	松原 政勝	出席			
出席説明員	産業振興部	産業振興部長		農政課長		商工観光課長		水産みどり課長		
		佐々木栄典	出席	皆川 学	出席	田畑 直樹	出席	小野 武史	出席	
		商工観光課主幹		農政課主査		農政課主査		農政課主査		
		武田 妙子	欠席	金澤 亮太	出席	西郷 博之	出席	山下 真弘	出席	
		水産みどり課主査		水産みどり課主査		商工観光課主査				
		古里 達也	出席	岩光 信幸	出席	松本 芳樹	欠席			
	建設水道部	建設水道部長		建設水道部次長		管理課長		事業課長		
		伊藤 一成	出席	外石 昭博	出席	松田 勝広	出席	佐竹 和仁	出席	
		上下水道課長		上下水道課技術長		建築住宅課主幹		事業課主幹		
		千葉 宏	出席	袴田 充輝	出席	篠田 敬介	出席	廣島 静治	出席	
		事業課主幹		上下水道課主幹		管理課主査		管理課主査		
		前道 陽司	出席	福原 仁史	出席	木村 洋平	出席	植松 拓也	出席	
		建築住宅課主査		事業課主査		上下水道課主査				
		大西 廣和	出席	板垣 正博	欠席	池田 友和	欠席			
	農業委員会	農業委員会事務局長		農業委員会主幹		農業委員会主査				
		川畑 智明	欠席	大山 晋作	欠席	志度 正勝	欠席			
委員外の出席		議長	西原 浩					合計	1名	
事務局職員		局長	干場 富夫					合計	1名	
傍聴者数		議員	0名	報道関係者		0名		合計	0名	

令和5年第5回産業建設常任委員会 要点記録

会議に付した事件及び会議結果など

発言者	会議経過 ※所管毎に議事を行う事情等により議事番号が前後することがある。
委員長 11番 今西	13:50 開会
	出席委員5名、委員外1名、会期1日
委員長 11番 今西	挨拶
	【建設水道部所管事務調査】
建設水道部長 伊藤	挨拶及び概要説明
委員長 11番 今西	(1)町道等の維持管理について
管理課長 松田	・資料により説明
	別海町は広大な面積を有しているため、町内を4地区に分割し、毎年3月に入札を行っている。 業務内容は、大きく分けてパトロール業務と維持補修業務。 地区分けについては、資料のとおり。 パトロール業務は、通常パトロールが月10日、夜間パトロールが月1日、定期パトロール・橋梁の点検が月2日、その他に震度4以上の地震後、または降雪などの気象状況により緊急的に常時パトロールを実施している。 維持補修業務の内容については、貸与している町有グレーダーによる路面整正が路線によって回数に違いがあるが年2回から5回、その他に生乳搬出量の私道を依頼によって行っている。 清掃車による路面清掃が年2回、幹線道路の交差点除草作業が年1回、その他に随時軽微な作業を行っている。 融雪期の町道等の損傷については、毎年、春先は融雪の影響などから、道路の損傷が多い時期となる。 舗装道路については、アスファルトの路面にひび割れが生じ、車の往来により衝撃が加わり、損傷分が拡大するなどの事案が町内全域で発生する。 今年は13路線でアスファルトの損傷が激しいものとなった。 また、砂利道については、砂利が流されたり、水分を多く含んだ悪路となり、4路線で通行が困難な状態となった。 融雪期の町道等の補修については、損傷状況などは、各地区のパトロール員からの報告や住民などからの連絡があり次第、損傷の激しい箇所から随時補修を行っているところだが、補修箇所の多さや業者の人員不足などもあり、復旧までに時間を要しているのが現状。 一般交通に支障を及ぼさないよう復旧作業までの間、パトロールを強化し常温合材や土のうなどにより、一時的に補修し、維持管理を行っている。
委員長 11番 今西	質疑
委員 5番 貞宗	・冬場に、滑るところに融雪剤を撒いて欲しいと役場に言ったらそれできないと言われた。
	それで、実際に我々が自分らで砂を引いたりしてあげた。
	それを何でできないのか。
管理課長 松田	・どういう理由で撒けないと回答したのかは今不明だが、冬場は特に滑るとかっていう
	パトロール員からの情報住民からの通報は来ている。
	その都度、各地区のパトロール員には融雪剤なり砂をまくように、指示はしているつもりでいたが、もし町でできないという回答したのであれば、状況はちょっとわからないが、そこは申しわけなかったかなというところはある。
	内容はわかったので、後ほど場所等を具体的に確認指定したいと思う。

令和5年第5回産業建設常任委員会 要点記録

委員	5番	貞宗	・パトロールやる以上は、ごみ拾いとかやるべきだと思うが。
管理課長		松田	・軽微なごみ拾いは、一応パトロール業務の中に含まれているので、そこら辺は再度指導していきたい。
			例えば、粗大ごみ等に関しましては、そこはちょっと軽微な作業じゃなくて、後日という話にはなるが、そういう軽微なごみ拾い程度であれば、パトロール業務の一部になっているので、指導していきたい。
委員長	11番	今西	・他に何かあるか。
委員		一同	・なし
委員長	11番	今西	建設水道部 14:10 終了 休憩
委員長	11番	今西	14:12再開 委員長挨拶
			【産業振興部所管事務調査】
産業振興部長		佐々木	挨拶及び概要説明
			・潮干狩りフェスティバルの報告 前半 5月 8日から11日の4日間 延べ505人の来場者 後半 5月22日から25日の4日間の予定
委員長	11番	今西	議事1 所管事務調査について
			(1)酪農振興対策について
農政課長		皆川	・資料により説明
			本町における酪農畜産の現状については、新聞報道等で既に御承知のことかと思うが、ウクライナ情勢による原油価格の高騰や為替円安による飼料の農業資材の高騰、また、資材高による買い控えによる個体販売価格の急落、コロナ禍以降の需要低迷で生乳生産抑制が続くなど、酪農畜産を取り巻く情勢は、まさに三重苦で、短期間後にこれほどの打撃を受け、経営の危機に直面していることはいまだかつてない、未曾有の事態となっているところ。
			この飼料、肥料の高騰を受け、国及び道による配合飼料及び肥料の高騰対策というのを実施している。
			国においては、配合飼料価格高騰緊急対策と国産粗飼料利用拡大緊急酪農対策、さらには、配合飼料価格安定制度、肥料価格高騰対策事業というのが行われている。
			道においても同じような対策に取り組んでいるが、化学肥料購入支援金給付事業、配合飼料高騰対策緊急支援事業、酪農生産基盤確保対策事業については、令和5年度から拡充して行われているもの。
			本町の生産資材高騰対策については、現在、国や道では飼料や肥料の高騰対策として、緊急的に生産者に補填金を交付するなど支援策を打ち出しているところだが、これらの支援をもってしても、以前、生産環境は厳しいものが続くと判断し、早期により効果的な支援策が必要であるとの結論から、昨年度の水道料減免による支援をさらに拡充しまして、減免期間を6カ月する、支援策を本定例会に提案させていただいたところ。
委員長	11番	今西	質疑
委員	5番	貞宗	・町では、水道を減免しようという目標を立てますが、これは行政だけではかなりの負担になると思う。
			対策について J Aとの話し合いというのはしているのか。
産業振興部長		佐々木	・昨年の3月後半くらいに組合長が集まっていろいろと協議させていただいた。
			その中で、今回6カ月程度の水道料の減免はっていうお話が出で、農協の組合等と

令和5年第5回産業建設常任委員会 要点記録

委員 5番 貞宗

産業振興部長 佐々木

委員 12番 松原

産業振興部長 佐々木

委員 5番 貞宗

農政課長 皆川

委員 4番 伊勢

農政課長 皆川

委員 4番 伊勢

農政課長 皆川

委員 4番 伊勢

農政課長 皆川

委員長 11番 今西

委員 一同

委員長 11番 今西

水産みどり課長 小野

の合意のもとでこういう対策をとらせていただいた。

・そうすると、町だけの負担であって、ＪＡだってある程度は組合員を守らなければならない立場ですから、やっぱり行政とＪＡがタイアップした対策をやっていくべきじゃないかなと思うがいかがか。

・確かにそういう御意見もあるかと思う。

ＪＡはＪＡで、全てではないが、今回の情勢を見ながら対策を打とうとか、既に対策を打ってるＪＡもある。

それは、ＪＡによってその手法がちょっと違うんですけども、その時に、一緒の取組をすればいいのかまたいろんな議論が出ますけども、今回については、ＪＡもそういう考えをもって対策を打っているところもあるので、別々になってしまったという経緯がある。

いずれにしても、ＪＡは知らないってことにはなっていないので、この情勢を見てそういった対策をとる形になろうかというふうに考えている。

・町でやれる対策というのは限られていると思う。

水道の場合は、別海町独自の事業でもあり会計でもあるから、それは町が判断すればできると思う。

そういう点では、町がやれるその支援というのは、水道だけに限られたのかなと思うし、これからもこの酪農情勢が好転するなことは見込まれないので、どういう形で支援できればいいのかを十分に産業振興部として考えてやっていただきたい。

・当然ながら、いろんな助成もそうだが、当然、検証することは必要ですし、今の情勢がどこまで続くのかっていうのが、ちょっと検討つかない状況ですので、今後も対策を打たなきゃなんない可能性が出るかもしれないが、そうなった場合にも、今回の助成、あるいは昨年の助成について検証しながら、進めてまいりたいというふうに考えている。

・昨年度、水道の減免した時に、１戸当たり平均いくらぐらい減免なったのか。

・大体、酪農家１戸当たり１０万から１５万ぐらいの減免額になろうかなと思う。

・何件くらいあって、総額いくらになったのか。

・昨年度は８，０００万程度の支援となっている。

・酪農家は何件くらいあるのか。

・７００戸程度。

・今年もそれはやる予定なのか。

・提案させていただいている。

・他に何かあるか。

・なし

議事２ その他

(１)エゾシカの春駆除について

・５月８日から３１日の期間で春駆除を実施しているところ。

５月１７日に銃刀法違反疑いの等の事案が発生し、猟友会別海支部と協議の上、１８日から駆除を中止した。

町としては、春先の牧草への影響、また、一部の農家から再開してほしいという声もあった。また、駆除に従事する一部のハンターの方からも再開を望む声が多くあった。

一旦は、状況の把握と猟友会別海支部会員宛に注意喚起文書を送付している。

一連の処理が全て完了した後で、駆除を再開することも検討していたが、今回の事案が重大な法令違反であったこと、また、猟友会別海支部総会の場合において、猟友会の方から春駆除の再開については町に一任するといったお話があった。

しかし、猟友会の中でも、再開については非常に賛否が分かれていたことから、町とし

令和 5 年第5回産業建設常任委員会 要点記録

ては、猟友会会員全員が町の事業をしっかりと理解した上で実施する必要があるため、総合的な状況を勘案した結果、最終的に中止と判断させていただいた。

なお、9月以降の駆除については、法令の遵守について、再度、しっかりと周知徹底を図った上で、予定どおり実施をしたいと考えている。

春駆除については、1,300頭を予定していたが、結果的に803頭となった。

委員長 11番 今西

閉会挨拶

委員長 11番 今西

14:37 閉会